



橋杭岩（和歌山県 串本町）

🌸 「すでに起こった未来」を探せ 🌸

特定医療法人共和会
理事長 山本 直彦

新年、明けましておめでとうございます。

2019年12月に中国で報告され、4年以上も猛威を振るった新型コロナウイルスも昨年5月にインフルエンザ感染症と同様の5類相当になって、初めての新年を迎えます。

昨年を振り返り、当法人にとって大きな出来事と言えば、4月から国立病院機構東尾張病院前院長の西岡和郎先生が新たに当院の院長に就任されたことです。2017年から内科医である私が院長を兼任してまいりましたが、精神科医である西岡先生が院長として来ていただいたことは、共和病院の精神科診療のさらなる充実に繋がることと思っています。そして、共和会でも少しずつコロナ前の日常を取り戻しつつあり、新館前の外来駐車場において、7月には5年ぶりに盆踊りを、10月には7年ぶりに「てんてん祭り」を開催いたしました。新病棟の建設とコロナ禍で出来なかったイベントが可能になり、大いに盛り上がりました。

さて、2024年はどんな年になるでしょう。4月には6年に1度の診療報酬と介護報酬の同時改定がなされ、加えて医師の働き方改革がスタートし、医療を取り巻く環境は大きく変わることが予想されます。

ところで、私が理事長に就任した頃、共和会では輪

読会が行われており、課題の本はピーター・ドラッカーのマネジメントに関する本でした。その後に読んだ別の著書『すでに起こった未来—変化を読む眼』（1992年）の中で、30年以上も前に、彼はすでに日本の未来社会における人口減少や定年制、格差問題を危惧しており、未来を予測する上で確実な指標は人口動態（年齢構成）であると述べています。すでに日本は少子化対策では西欧諸国に遅れをとっており、とりわけ「若年人口の減少は国内市場を根本的に変え、外国人労働者と移民の受け入れが国論を二分する問題になるであろう」とも述べ、現在ヨーロッパでは移民に反対する極右政党が第1党となる国が見られるように、日本でも議論が起きています。この人口動態の変化はすでに産業構造や規制を変えつつあり、エネルギーや食糧が重要な問題となり、加えて地球環境の変化が追い打ちをかけています。

私たちは、4月に改訂される診療報酬と介護報酬への適切な対応をしつつも、自らがこの共和会で「すでに起こっている未来」を探し、新たなトレンドを見出し、果敢に行動して行かなければならないと思っています。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT

第24回 共和病院地域医療フォーラムを開催して

2023年11月18日（土）に第24回共和病院地域医療フォーラムを開催しました。地域医療フォーラムは『地域の保健・福祉・医療の関係者の交流と情報交換の場を作りたい』という思いから毎年開催しています。現在、世の中では地域共生社会の実現に向けて動いており、当院も地域包括ケアに力を入れています。このことに着目し、今年度は『退院支援』をテーマに、当院の取り組みについてお伝えすることとなりました。

今回のフォーラムでは、第1部で半田市障がい者相談支援センター 副センター長の徳山勝様に『地域社会に必要な精神科医療とメンタルヘルス』について、法改正についての話も絡めながらお話しいただきました。第2部では支援のありのまを伝え、今後の退院支援の一助となればとの思いから『地域につなげる退院支援～「空と海が見たい」から始まった諦めない関わり～』と題して長期入院されていた方の退院支援と現在の生活の様子について、院内外の支援者の方にお話しいただきました。

第2部では当事者様のご厚意によ

り実際の支援場面・生活場面の写真や動画を提示させていただく事ができ、入院中や今の生活のご様子、表情等がより伝わりやすかったのではないかと思います。実際に支援に関わった院内外のスタッフも多く参加しており、当事者様から元気をもらったスタッフも多かったのではないかと思います。

私個人としては患者様との関わり、支援者の方との切れ目のない関わり的重要性について改めて感じる機会となりました。

今年度もコロナやインフルエンザの影響により、会場でお会いすることができなかった方も多くいらっしゃいましたが、今後も皆さんと顔の見える関係を継続できたらと思います。

最後に共和病院地域医療フォーラムにご参加いただいた方、開催にご尽力いただいたすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

地域医療フォーラム実行委員長
濱嶋 和馬



ディスカッション



徳山 勝様



鶴見 英也様



熊崎 靖子



北野 智和



古田 康恵



今井 真理子

プログラム

第1部 講演「地域社会に必要な精神科医療とメンタルヘルス」

講師 徳山 勝様（半田市障がい者相談支援センター 副センター長）

第2部 「実践報告/パネルディスカッション」

パネリスト 鶴見 英也様（日中サービス支援型障がい者グループホーム Eグループ グランエミシス新守山 マネージャー）

熊崎 靖子（共和病院 看護師）、北野 智和（共和病院 作業療法士）、古田 康恵（共和病院 精神保健福祉士）、

今井 真理子（訪問看護ステーション アイリス半田 看護師）

座長 新美 恵介（共和病院 看護部長）



共和病院には、患者様のご病状に合わせた最適な治療が受けられるよう、様々な機能の病棟を6つ備えています。
毎号それぞれの特色を紹介しています。

C-2病棟

C-2病棟は、病床数43床の医療療養病棟です。

医療療養病棟は、急性期治療が終わり、長期にわたり療養が必要な患者様に、医学的管理下で日常生活やリハビリによる機能訓練を継続して行い、在宅復帰を支援する病棟です。

入院中の患者様は、さまざまな疾患により入院されています。その中で病棟スタッフは、各チームリーダを主に担当看護師、介護職員とともに患者様の状態に合わせた個別ケアができるよう日々のケアを実践しています。

C-2病棟では、毎月患者様へアクティビティ企画を提供しています。時には作業療法士と一緒に患者様に楽しんでいただけるように、企画を考え実践しています。アクティビティの企画は、約1か月前から題名を考え、

デイルームに掲示します。企画内容は、季節に合わせた催し物、カラオケ、手浴や足浴などのリラクゼーションなど様々な内容を企画して実践しています。また、長期臥床されている患者様も参加できるように企画内容にも工夫しています。

私たちスタッフは、医療依存度が高く、すぐに在宅復帰や施設へ戻ることのできない患者様へ、その人らしい生活が送れるように日々のケアを通して、患者様だけではなく、ご家族にも常に寄り添いながら、安全、安楽に看護、介護を提供できるよう努めています。

病棟責任者 上杉 麻衣子



季節を感じていただけるプログラムをととして

●慢性期病棟合同運動会

A-4病棟にて、数年ぶりに運動会を開催しました。昨年より慢性期病棟の連携を積極的に行的っており、今回は、希望されたC-1病棟の患者様も合同参加されました。

今運動会では、事前の準備にも力を入れ、チームごとに応援旗やオリジナル応援グッズの作成、運動会に向けた玉入れの練習も行いました。運動会当日は患者様と職員が一同になって応援し合い、チームの勝利に向けて頑張りました。靴下相撲での職員同士の戦いでは、患者様がメガホンを叩き、大きな声を出して応援をし、職員と患者様が一致団結した時間になりました。また病棟職員だけでなく、慢性期病棟や患者様にゆかりがある職員も応援に参加し、大いに盛り上がりしました。

作業療法士 土田 悠登



●急性期病棟レク石焼き芋

秋は芸術、スポーツ、読書、いろんな秋がありますが、やっぱり食欲の秋です。10月、11月に急性期病棟レクリエーションで石焼き芋を行いました。

患者様と職員が協力して準備を行いました。さつまいもを新聞紙とアルミホイルで巻きながら懐かしさを感じる方や、初めての石焼き芋に四苦八苦しながらも他患者様にやり方を教えてもらいながら行う方もいらっしゃいました。患者様同士や職員との交流が自然に生まれるところはレクリエーションの良いところです。焼く際には、施設管理の職員も手伝いに入り、おいしく焼き上がったさつまいもを皆さんが笑顔で食べていたのが印象的です。

引き続き、参加した方の笑顔が引き出せるようなレクリエーションを企画していきます。

作業療法士 北野 智和



編集後記



新年明けましておめでとうございます。

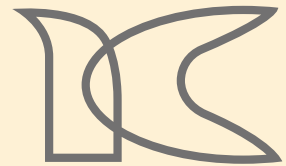
皆さま、お体の調子はいかがですか。気候や気温・生活環境の変化など、周りの環境は日々変化しますが、睡眠や食事などをしっかりと摂り、健康で楽しく過ごしていただければと感じています。

2024年広報誌WA!のカラーとして、本年のラッキーカラーの一つ「赤」を選ばせていただきました。「赤」と聞いて、真っ先に思い浮かんだのは、家で飼っている

金魚でした。一昨年の夏祭りでの金魚すくいでもらってきた金魚達なのですが、水槽の中を所狭しと元気に泳ぎ回っており、日々の癒しにもなっております。

そんな金魚達にも元気をもらいながら、一年間情熱を持っていろいろなことに一年取り組んでいきたいと感じています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会 大脇 俊介



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした
最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

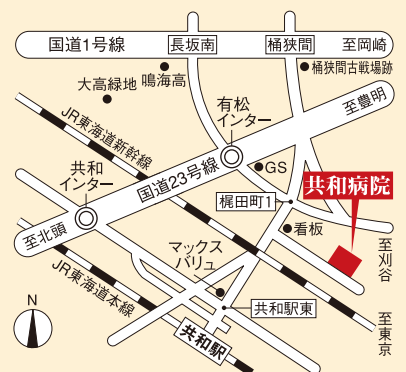
- 職員のチームワークと創造性が
高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が
感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・放射線科
リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>



様々な職業を知ろう！

大府市立北山小学校のキャリア・スクール・プロジェクト「つなぐ」の一環で当院が選ばれ、

2023年10月11日（水）に、2年生のみなさん（30名）が見学に来院されました。

リハビリテーションセンター、X線検査、通所デイサービス、通所リハビリテーションを見学され、それぞれの現場スタッフが説明させていただきました。

見学時は、みなさんから積極的に様々な質問があり、興味を持って見学していただけて嬉しく思います。当法人では、職場見学、職場体験、ボランティアスクールなどを通して、地域との繋がりを大切にしています。お気軽にご相談ください。

事業支援部門 丸山 浩史



表彰おめでとうございます！

精神保健福祉の発展に寄与され功績が顕著な方々に、愛知県精神保健福祉協会長より表彰授与がありました。当法人からは、訪問看護ステーションアイリス日進 管理者の今川卓さんが表彰を受けました。おめでとうございます！



★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00～19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞ください。

おもいやり共和の キラキラチアナイト



当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

3月2日(土) 第15回 共和会研究発表会を開催します。
詳細が決まりしだい当法人HP等でお知らせします。